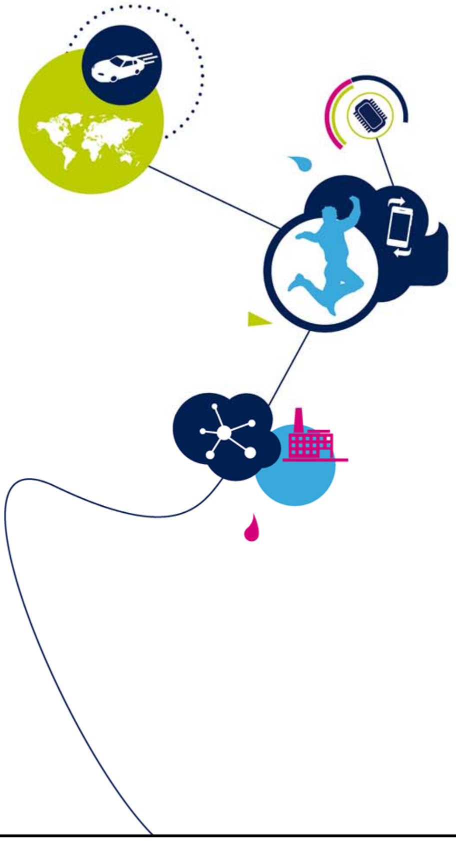
STM32WB – ようこそ

ウェルカムセッション

1.0 版



life.augmented

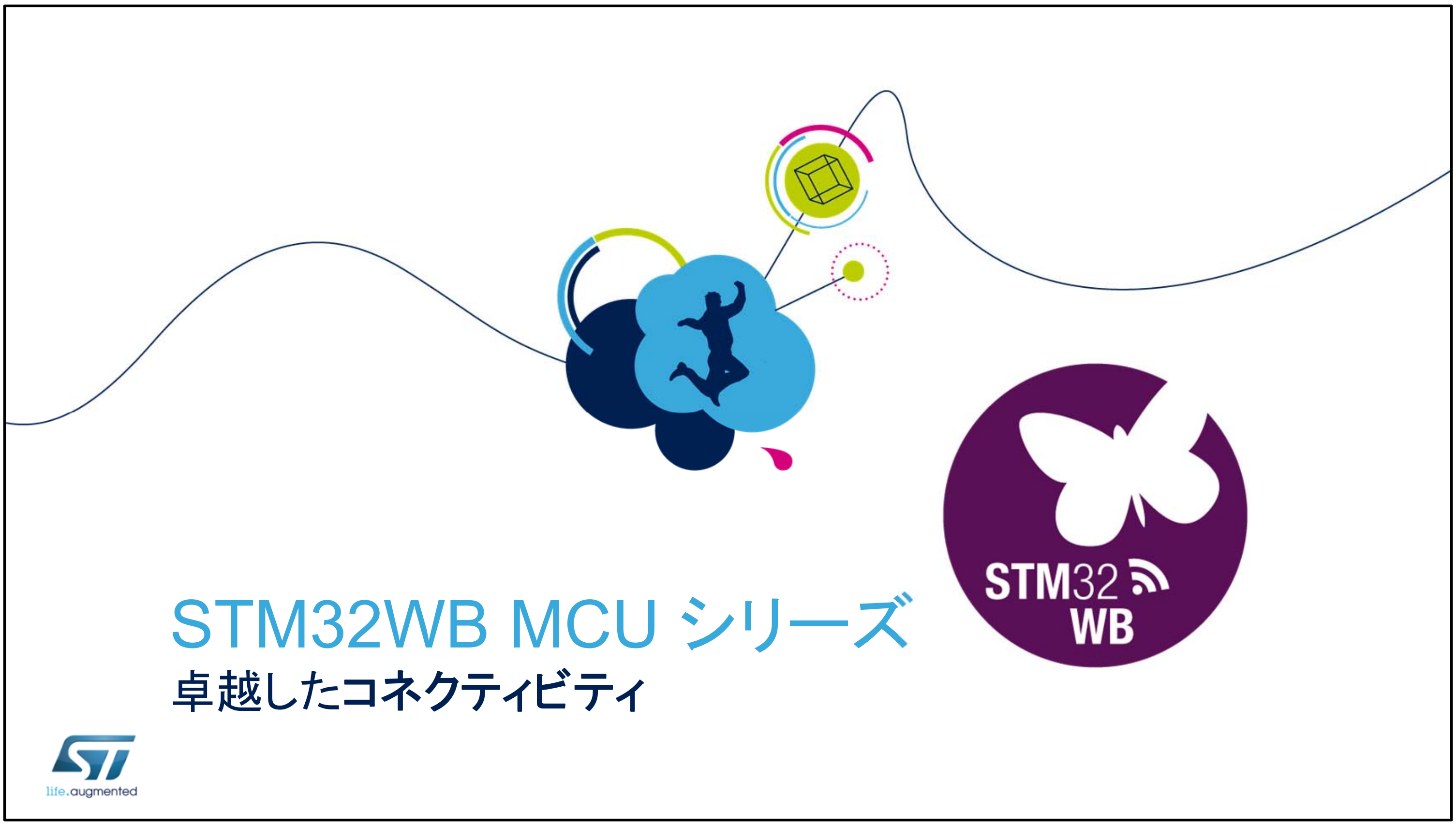
こんにちは、STM32WB のトレーニングセッションへようこそ。

トレーニングセッションの構成

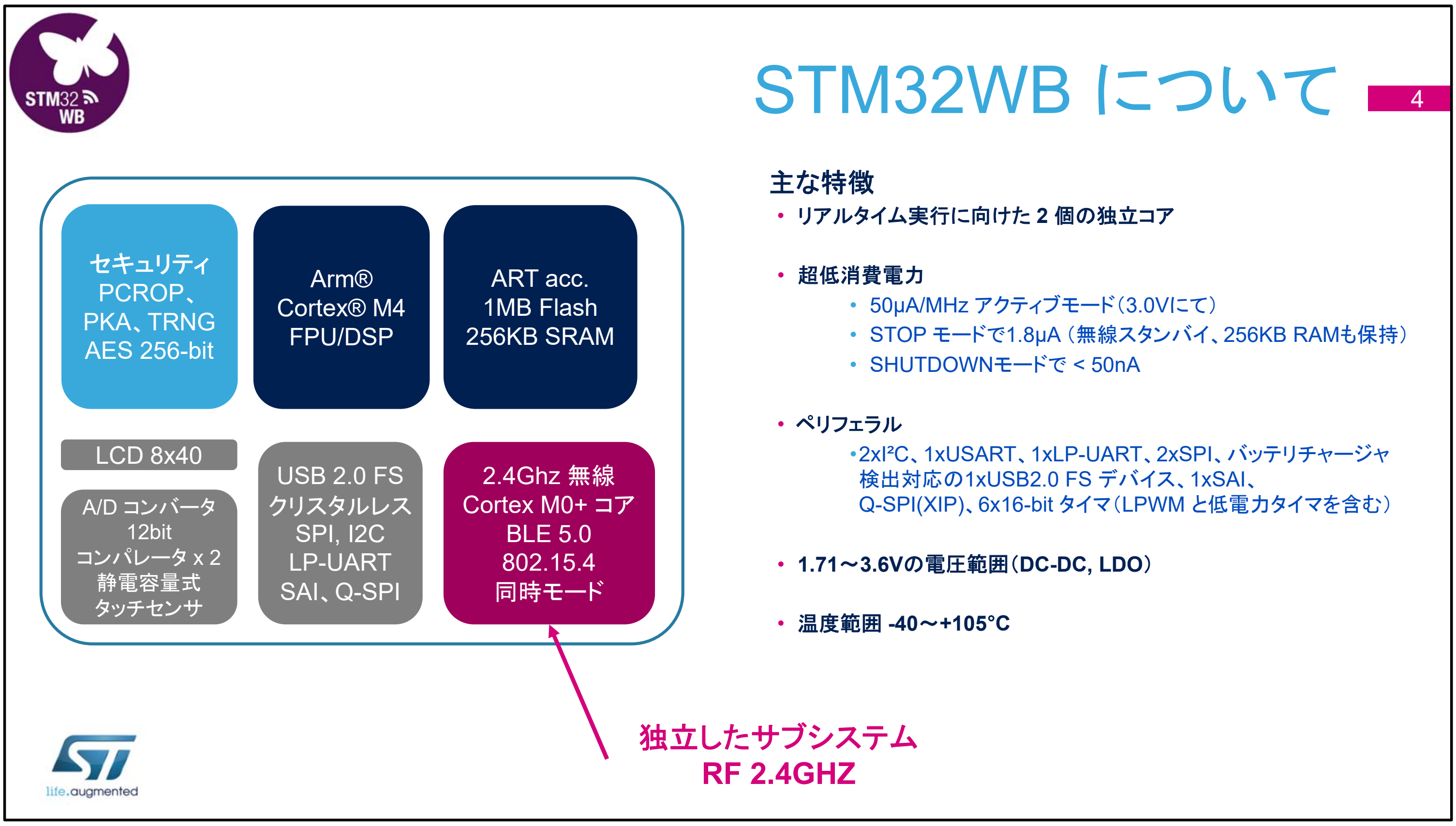
- 概要
- システム
- メモリ
- セキュリティと安全性
- アナログ
- 通信とペリフェラル
- ウォッチドッグとタイマ
- 開発エコシステム
- 次のステップ

life.augmented

このセッションは、アプリケーションをできるだけ簡単に開発する上で必要になる、最も重要な情報をお伝えするよう構成されています。このセッションでは、ペリフェラルと開発ツールを含めたSTM32WBモジュールの技術的内容をそれぞれのセクション(システム、メモリ、セキュリティ、アナログ、ペリフェラル、ウォッチドッグとタイマー、開発エコシステム)に整理して説明しています。各セクションを必要な順序で都合のよいときに参照して、各モジュールについての知識を得ることができます。
このセッションではキーワードの直接検索が可能で、関連情報を記載したセクションに直接アクセスできます。

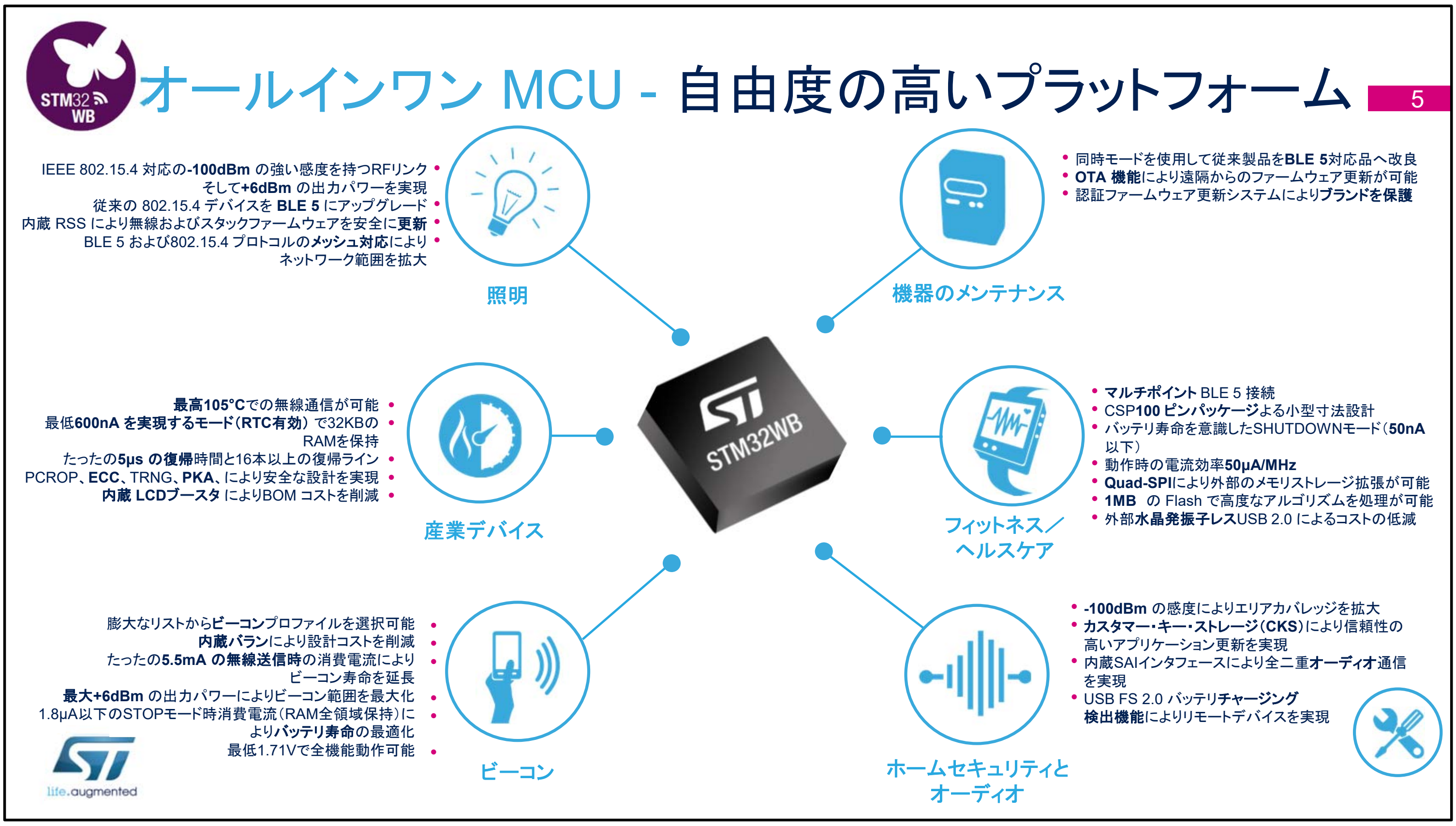


それでは、STM32WB ワイヤレスマイクロコントローラの新シリーズを詳しく見てみましょう。

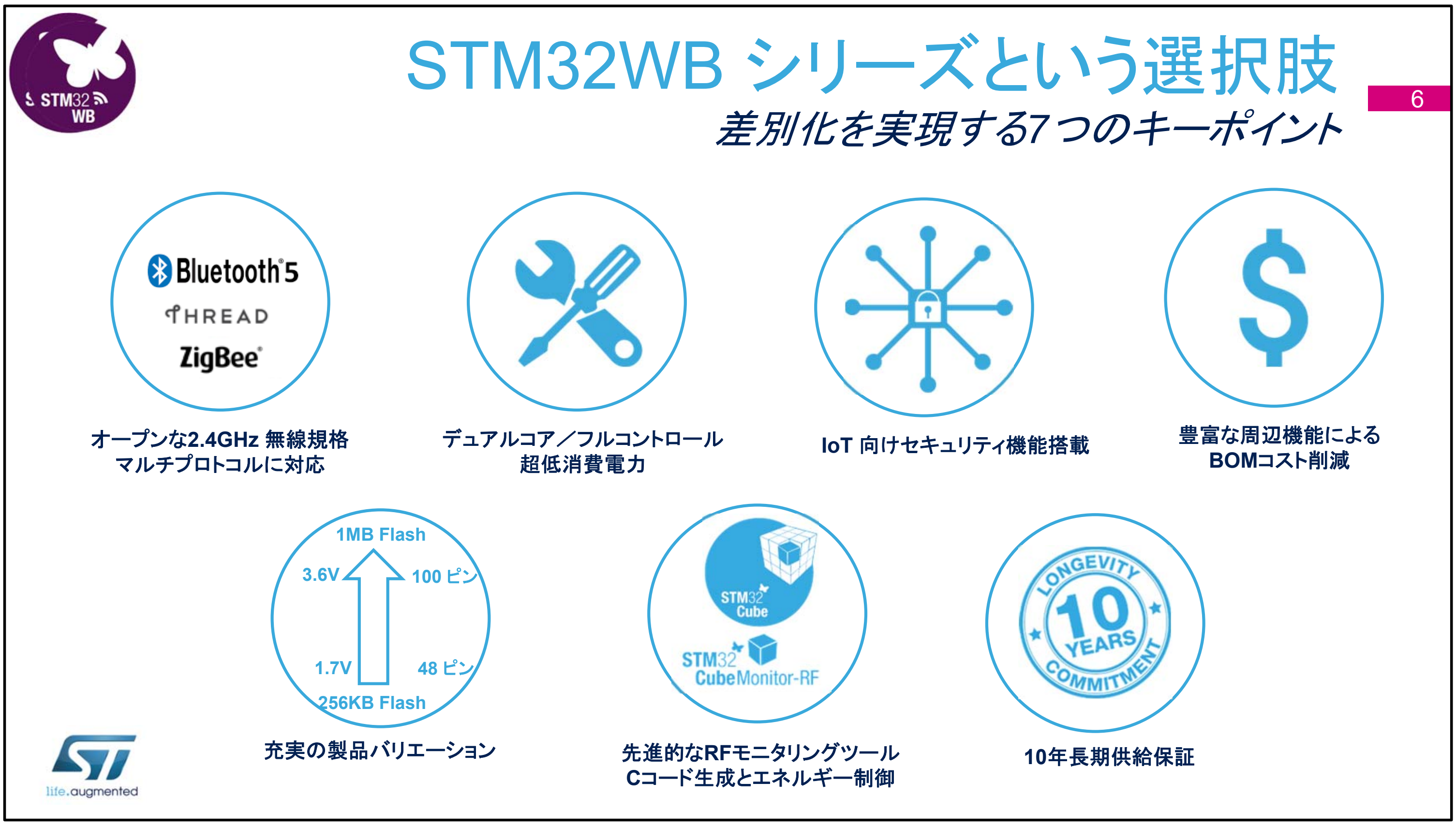


STM32WB マイクロコントローラは、BLE 5.0 および IEEE 802.15.4 RF モジュールを内蔵したワイヤレス MCU の新シリーズです。
このデバイスは、市場をリードする周知の STM32L4 超低消費電力シリーズ MCU を進化させたもので、新しいペリフェラルによる拡張で広範囲のユースケースをサポートし、また低消費電力機能を追加して全体的な電力効率を向上しています。

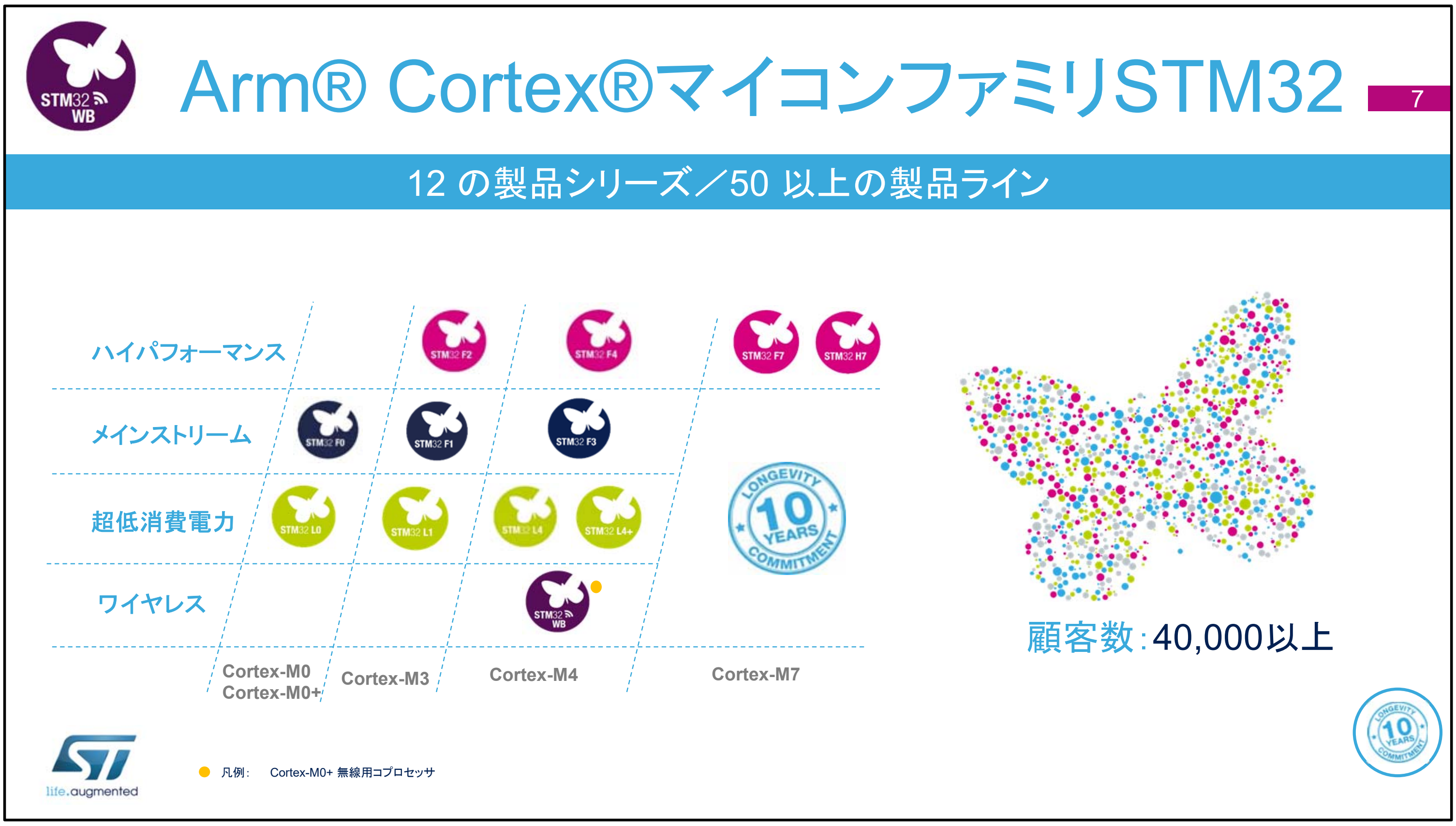
STM32WB は、アプリケーション用プロセッサ CPU1 として使用される Cortex-M4 コアと、接続用プロセッサ CPU2 として使用される Cortex-M0+ コアによるデュアルコアアーキテクチャで構成されています。
このデュアルコアアーキテクチャの利点は、コネクティビティプロセッサがワイヤレスプロトコルによるすべてのリアルタイムの処理を担当することで、アプリケーション用プロセッサはリアルタイム処理の制約なしにアプリケーションを処理できることです。無線サブシステムは、2 つの CPU から独立して自律的に動作できる3 番目のサブシステムです。



STM32WB はその豊富な機能で、照明からヘルスケア、ホーム
モニタリングから産業用制御、その他の IOT デバイス制御に至
るまで、幅広いユースケースをサポートします。



このスライドは、新しいプロジェクトへの STM32WB マイクロコントローラの選択が違いを生む、7 つのキーポイントをまとめたものです。
2 個の完全に独立したコアで構成した革新的なアーキテクチャは、リアルタイム実行（無線関連のソフトウェア処理）、リソース使用の柔軟性、電力管理、および BOM コストの最適化に貢献し、ユーザエクスペリエンスを向上させます。



STM32WB シリーズは、STM32 マイクロコントローラ開発時の ST の長い経験と、STM32 MCU ファミリ全体ですでに運用中のハードウェアとソフトウェアツールをベースにした豊かな開発エコシステムから資産を受け継いでいます。

エンジョイ!

www.st.com/stm32wb

life.augmented

それでは、トレーニングを始めましょう。この製品に関するイベントとニュースについては、当社の Web サイト（www.st.com/stm32wb）で遠慮なくフォローしてください。
お楽しみください。